COSMOS

■ TGPD－5Z
■ XP－702ⅡZ－B
■ XP－702ⅡZ－A

ガスリークディテクタ
取扱説明書

この取扱説明書には左記3機種の取り扱いが記載されています。

- この取扱説明書は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。
- この取扱説明書をよく読んで理解してから正しく使用してください。

仕様文書番号
XP-702ⅡZT

目 次

1．はじめに

このたびはガスリークディテクタをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みになり、ガス漏洩事故防止、保安点検にお役立てください。

本器は、都市ガス・LPG・フロンガス等のガス漏洩探知を行い、あらかじめ設定されたガス濃度に達すると、ブザーとランプによってガス漏洩をお知らせし、ガス漏洩事故防止にお役立ていただくためのガスリークディテクタです。

ガスリークディテクタを使用したことのあるないに関わらず、この取扱説明書をよく読んで内容を理解してください。
本器の使用目的以外には使用しないでください。また、取扱説明書に書かれていない使用方法では使わないでください。

2．シンボルマークの説明

本文中に危険、警告、注意の用語が出てきます。これらの用語の定義は下記の通りです。

危険：回避しないと、死亡または重傷を招く切迫した危険な状況の発生が予見される内容を示しています。

警告：回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。

注意：回避しないと、軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。

メモ：取扱上のアドバイスを意味します。

3. 正しくお使いいただくために

●安全にご使用いただくために、下記の事項を必ずお守りください。

危険　警報が鳴りましたら、必要な処置をしてください。

警告　電池の交換は非危険場所（清浄空気中）で行ってください。
着火源になる恐れがあります。

注意　本器は本質安全防爆構造です。分解、改造、構造及び電気回路の変更等はしないでください。防爆性能をそこなう場合があります。

注意　定められた法律、規則等に準拠してご使用ください。

注意　落としたり、ぶつけたり等の強い機器的ショックなどは避けてください。

注意　シリコーン系のシール材等を使用している周辺もしくはシリコーン系ガス雰囲気下での使用は、機器の性能を損なう恐れがありますので避けてください。

●保管時における環境・処置方法について、下記の事項を必ずお守りください。

注意　高温・多湿の場所に長く放置しないでください。

注意　急激な温度・湿度の変化は、機器の性能を損なう恐れがありますので避けてください。

注意　本器を長期間使用しない場合は、電池を取り出した状態で保管してください。

4.　包装内容物の説明

包装箱を開けると、下記のものが入っています。使用前に必ず、すべてが揃っているか確認してください。作業には万全を期しておりますが万一製品に破損や欠品がございましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。送付させていただきます。

ガスリークディテクタ本体	1
検査成績書	1
登録カード及び保証書	1
単3形アルカリ乾電池	3
取扱説明書	1
ドレンフィルタ（DF－107）	1
フィルタエレメント（FE－2）	2
標準アタッチメント（AT－2）	1
ダストフィルタ（FE-106）	1
シリカゲルフィルタ（FE-126）	2
点検ガス	1
ハンドストラップ	1
ガス捕集器セット※	オプション（別売） （TGPD-5Zには、ATS-4を標準装備）
イヤホン	オプション（別売）
ショルダーストラップ	オプション（別売）
保護カバー	オプション（別売）

※ガス捕集器セット（別売）詳細

型　式	内容物※1
ATS－1	ガス捕集器（AT－5，AT－6）、なまし銅管（AT－11）、 サンプリングチューブ（SH－4－05）
ATS－2	ガス捕集器（AT－5，AT－7A）、伸縮管（RP－4）
ATS－3	伸縮管（RP－1）、フレキシブルアダプタ（AT－12）、 サンプリングチューブ（SH－4－1）、イヤホン
ATS－4	TGPD－5Z専用セット（内容物は、ATS-5と同じです）
ATS－5	ガス捕集器（AT－5）、なまし銅管（AT－11） サンプリングチューブ（SH－4－05）

※1：内容物の詳細は、P22参照

5.　各部の名称

排気口

ガスの排気口です。

電源スイッチ兼感度設定スイッチ

電源の入切・ガス感度レベルの設定を行うスイッチです。

アラームランプ（赤）

本器が漏洩ガスを探知すると、点滅または点灯をします。
漏洩ガスの濃度が高くなるにつれて、点滅周期が早くなり、さらに高くなると点灯をします。

電池交換ランプ（黄）

電池残量が少なくなった時に点滅または点灯します。
点滅：電池交換注意
点灯：電池交換警報（使用できない状態です。）

ガス感度表示ランプ（緑）

ガス感度レベルを表示します。ガス感度レベルは5段階あります。対象ガスがフロンガスの場合は、1段階の固定になります。

操作説明部

操作方法を簡単に説明しています。使用時にお役立てください。

ブザーランプ（緑）

警報ブザー音がONの時に点灯します。

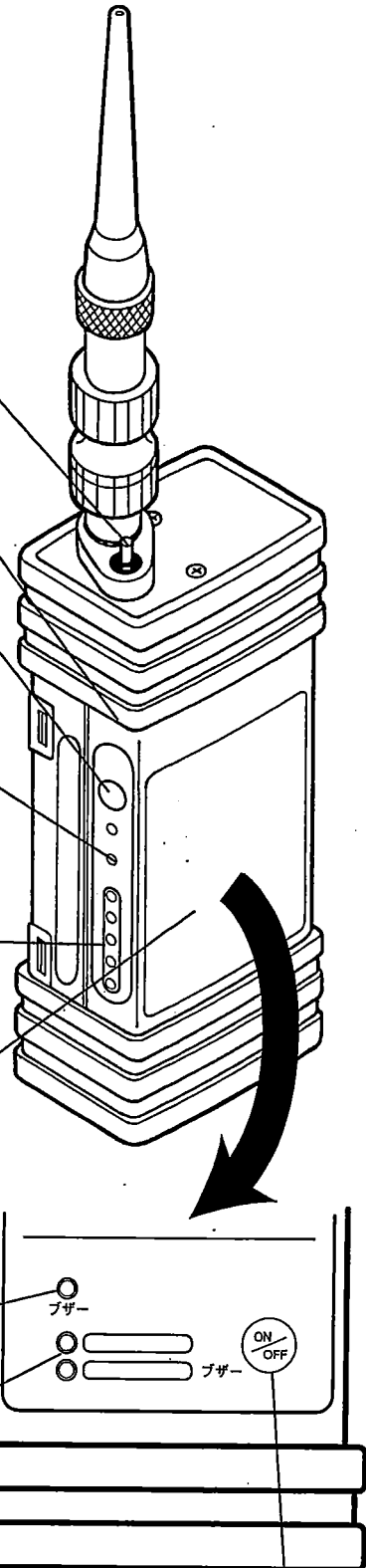
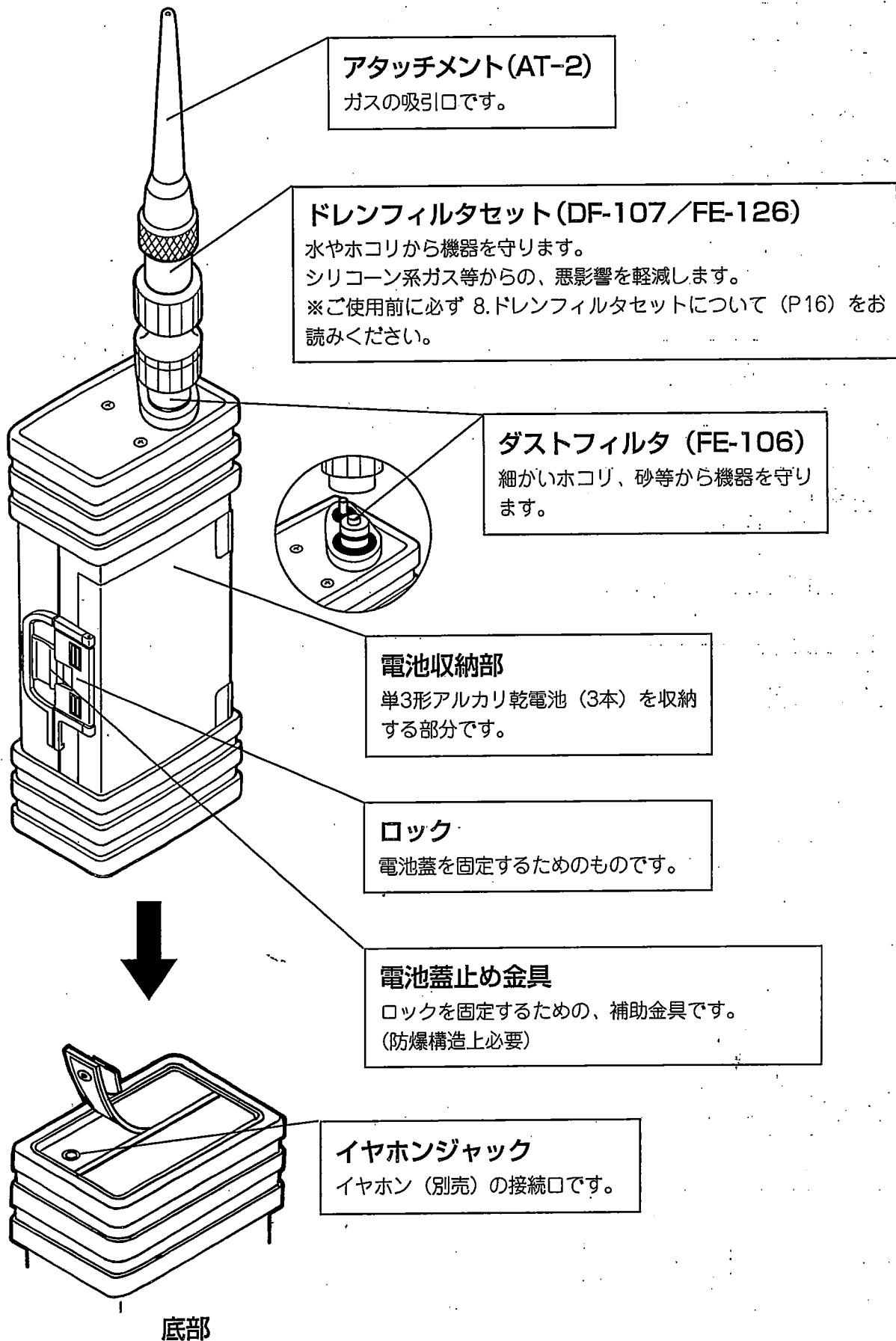
対象ガスランプ（緑）

ランプが点灯している方が、対象ガスになります。対象ガスが1種類の場合は、対象ガスランプはありません。

ブザースイッチ

警報ブザー音のON／OFFを、切り替えることができます。対象ガスが2種類の場合は、対象ガスの切り替え時にも使用します。

5. 各部の名称

アタッチメント(AT-2)
ガスの吸引口です。
ドレンフィルタセット(DF-107／FE-126)
水やホコリから機器を守ります。
シリコーン系ガス等からの、悪影響を軽減します。
※ご使用前に必ず 8.ドレンフィルタセットについて（P16）をお読みください。
ダストフィルタ（FE-106）
細かいホコリ、砂等から機器を守ります。
電池収納部
単3形アルカリ乾電池（3本）を収納する部分です。
ロック
電池蓋を固定するためのものです。
電池蓋止め金具
ロックを固定するための、補助金具です。
(防爆構造上必要)
イヤホンジャック
イヤホン（別売）の接続口です。
底部

6. 使用方法

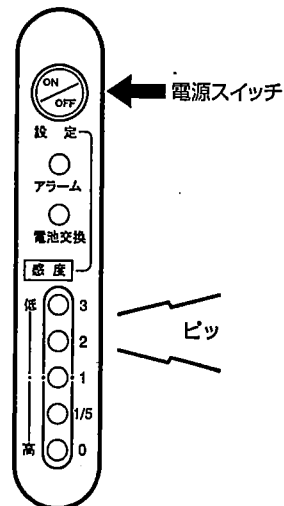
使用する前には必ず日常点検を行ってください。（日常点検P20参照）点検を行わずに使用すると、正常な探知ができない場合があり、漏洩検査等にお役に立てない場合があります。

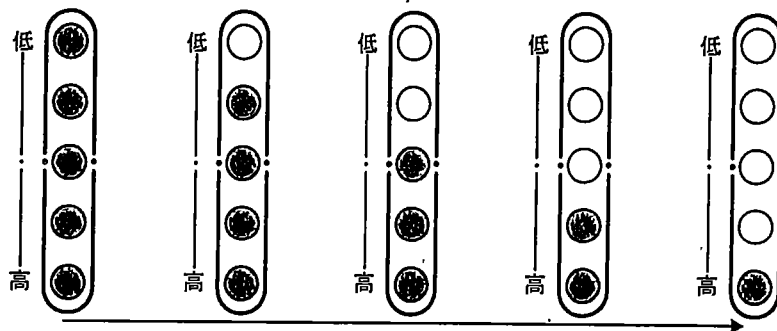
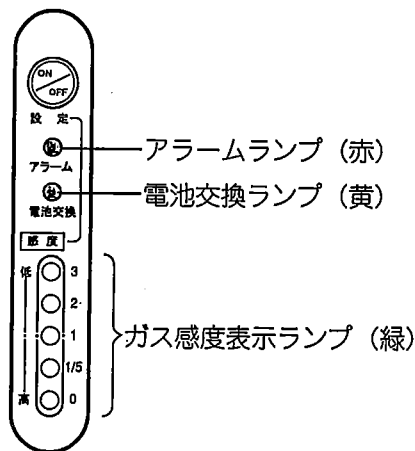
6-1 使用手順

①電源の投入

電源は、清浄空気中で投入します。

電池を入れ（電池の交換 P14参照）、電源スイッチを押します。「ピッ」というブザー音とともに電源が入ります。

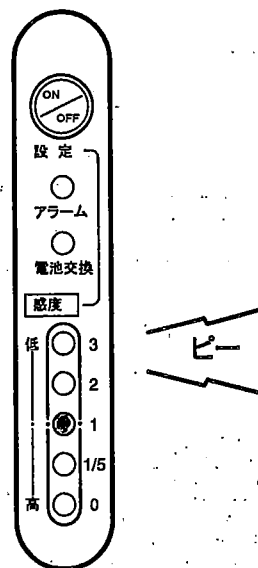
警告　電源は、必ず清浄空気中で投入してください。
ガス雰囲気中で電源を投入すると、オートゼロ異常になる可能性があります。

②準備中

初めに、アラームランプ（赤）と電池交換ランプ（黄）が交互点滅、ガス感度表示ランプ（緑）の最低感度レベル（1番上）が点滅し、あとの4つが点灯します。準備中は、センサの安定状態をこの5つのランプ（緑）により表し、センサが安定するに従って、最低感度レベル（1番上）より徐々にランプが消灯していきます。準備完了直前には、最高感度レベル（1番下）のみが点灯し準備完了へと向かいます。

メモ　センサの安定状況によって（安定が早いとき）1つずつ消灯しないときがあります。
長期間使用していない機器は、準備中が長くなる場合または、センサ異常表示（P13参照）になる場合があります。
センサ異常表示になった場合は、電源を投入し直して下さい。

6. 使用方法

③準備完了

準備が完了したら、「ピー」というブザー音とともに、アラームランプ（赤）と電池交換ランプ（黄）が消灯し、ガス感度表示ランプ（緑）が、設定されているガス感度レベルに点灯します。

ガス感度レベルは、電池を入れて（交換して）最初の電源投入時、「1」レベルに設定されます。次に、電源を投入した時は、ガス感度レベルは電源を切る前に設定されたレベルに設定されます。

対象ガスが2種類の場合は、探知を行う前に、機器本体の対象ガスの表示を確認します。探知したい対象ガスと異なっている場合は、切り替えを行ってください。（対象ガスの切り替え方法 P11参照）
電池交換後は、対象ガスランプ（緑）の上側の対象ガスに設定されます。
対象ガスが1種類の場合は、切り替えができません。

④ガス感度の設定

ガス感度レベルは、ガス感度の高い順から「0」レベル、「1／5」レベル、「1」レベル、「2」レベル、「3」レベルの、5段階に設定することができます。必要に応じてガス感度を変えて探知をします。

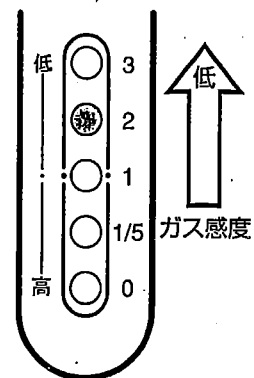
通常（露出配管等の場合）は「1」レベルで使用します。

メモ 対象ガスがフロンガスに設定されている場合は、「1／5」レベルの固定となりますので、ガス感度レベルの変更はできません。

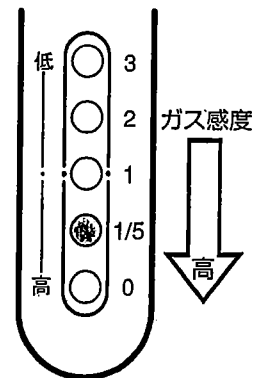
●ガス感度を低くする方法

電源スイッチを1回押す毎に、「ピッ」というブザー音とともにガス感度レベルが1つ低感度になります。ガス感度表示ランプ（緑）の点灯の位置は、1つ上に移動します。

「3」レベルまでガス感度レベルを低感度にすると、次は「0」レベルになります。

メモ 電源スイッチを3秒以上押すと電源が切れますので、ご注意ください。

●ガス感度を高くする方法

電源スイッチを2度押し（ダブルクリック）する毎に、「ピッピッ」というブザー音とともにガス感度レベルが1つ高感度になります。ガス感度表示ランプ（緑）の点灯の位置は、1つ下に移動します。

「0」レベルまでガス感度レベルを高感度にすると、次は「3」レベルになります。

●それぞれのガス感度レベルでのガス探知濃度は次の通りです。

「0」レベルの場合 ……………10ppm以下で探知します。
警報能力は3.3×10⁻⁶Pa・m³／sです。

「1／5」レベルの場合 ………30ppm程度で探知します。
（埋設配管等の場合）　※対象ガスがフロンガスの場合は、このレベルで固定となります。

6．使用方法

⑤漏洩ガスを探知した時

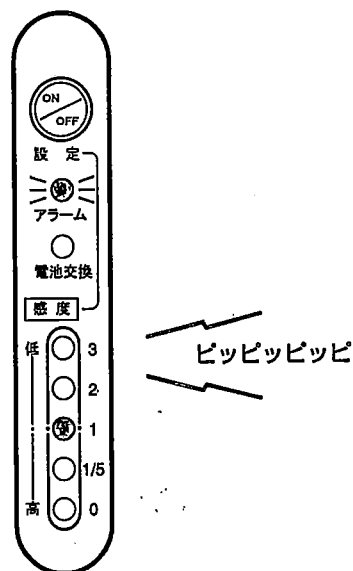
本器が漏洩ガスを探知すると、アラームランプ（赤）が点滅、警報ブザーが「ピッピッピッピ」という断続音で鳴り始めます。

漏洩ガスの濃度が高くなるにつれて、警報ブザーの断続周期が早くなり、連続音へと変わります。（ガスもれ箇所に近づくにつれて、警報ブザーの断続周期が早くなります。）

アラームランプ（赤）も警報ブザーに同期して、点滅から点灯に変わります。

警報ブザー音は必要に応じて、ON／OFFの切り替えをすることができます。（警報ブザーの切り替え方法 P11参照）

また、イヤホン（別売）を使用して聞くこともできます。（イヤホンの接続 P12参照）

ピッピッピッピ

●警報ブザーが鳴った場合

もし警報ブザーが鳴り、アラームランプ（赤）が点滅·点灯したら、必要な処置をしてください。必要ならば安全な場所に退避し、再び元の場所に戻る時は必ずガス濃度が安全なレベルであることを確認してからお戻りください。

また、電池交換ランプ（黄）が点滅したら必ず非危険場所（清浄空気中）で速やかに電池を交換してください。（電池の交換 P14参照）

電池交換ランプ（黄）が点灯し、「ピーピーピー」というブザー音が鳴り始めると使用できない状態になります。早めに電池を交換してください。

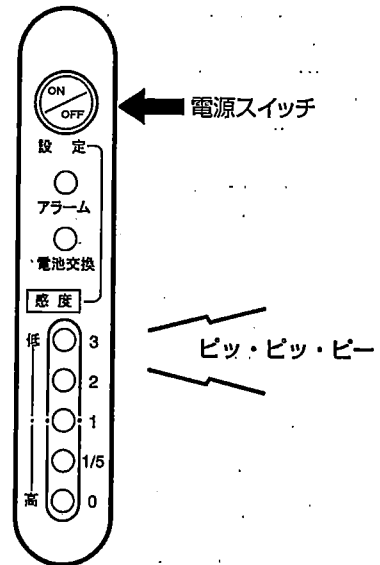
⑥探知の終了

探知が終了したら、電源スイッチを約3秒間押し続けます。

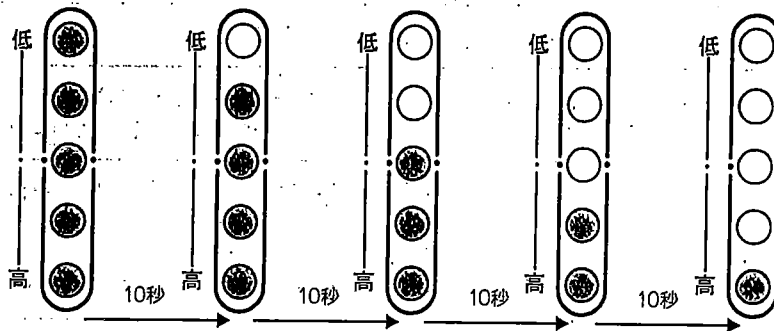
「ピッ・ピッ・ピー」というブザー音とともに電源が切れます。

メモ

・電源を切る時は必ず、警報ブザーが鳴っていないことを確認してください。警報ブザーが鳴っている状態で電源を切ると、再び電源を投入した時、オートゼロ異常になる可能性があります。

・フロンガスを探知した場合は、数分、清浄空気を吸引させてから電源を切ってください。再び電源を投入した時、オートゼロ異常になる可能性があります。

●自動ガス排気モード

電源が切れた後も、電源スイッチを放さずにさらに約2秒間押し続けると、自動ガス排気モードに入ります。

自動ガス排気モードに入ると、「ピッ」というブザー音とともに、ガス感度表示ランプ（緑）5つが全て点滅します。（その他のランプは、全て消灯します。）10秒ごとに最低感度レベル（1番上）より1つずつランプが消灯していき、約50秒後に自動的に電源が切れます。自動ガス排気モード時は、電源を切る操作以外は受け付けません。

メモ

高濃度ガス（フロンガス）を吸引したと思われるときに使用してください。使用後に清浄空気が吸引でき、自動的に電源が切れるので便利です。

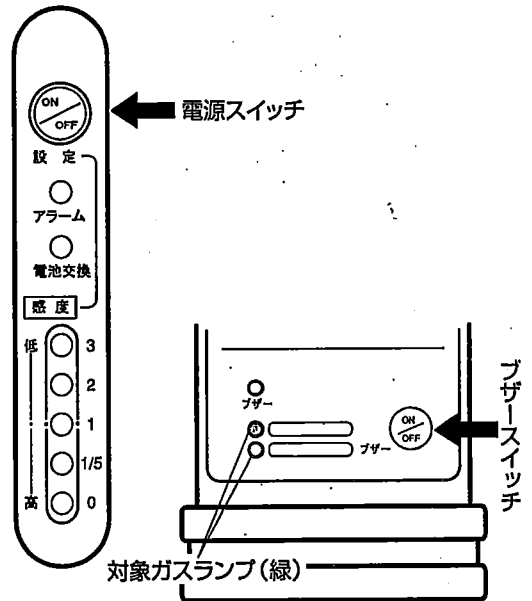
6-2 対象ガスの切り替え方法

対象ガスが2種類の場合、切り替えは電源を投入する時に行います。ブザースイッチを押しながら電源スイッチを押して電源を投入すると、対象ガスが切り替わります。

対象ガスランプ（緑）が点灯している方が対象ガスになります。

電源の投入後、対象ガスを切り替える場合は、1度電源を切って行ってください。

メモ

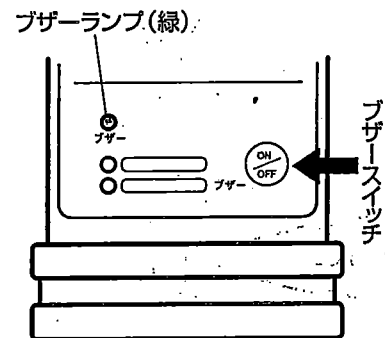
- 電池交換後は、対象ガスランプ（緑）の上側の対象ガスに設定されます。
- 対象ガスが1種類の場合は､対象ガスの切り替えはできません。（対象ガスランプ（緑）もありません。）

6-3 警報ブザーの切り替え方法

本器が漏洩ガスを探知した時に鳴る警報ブザー音のみを、ON／OFFすることができます。

電源が入っている状態でブザースイッチを押すと､「ピッ」というブザー音とともに警報ブザー音のON／OFFが切り替わります。

ブザーランプ（緑）が点灯しているとブザー音がONの状態で、消灯していると警報ブザー音のみがOFFの状態です。

メモ

次に電源を投入した時、警報ブザー音のON／OFFは電源を切る前の設定状態です。ただし、電池交換後はONに設定されます。

●完全消音モード（操作音も消えます）

電源が入っている状態で、ブザースイッチをダブルクリックすると（警報ブザーON/OFFどちらの状態でも）完全消音モードに入ります。

完全消音モードに入ると、操作音及び警報ブザー音とも鳴らなくなり、ブザーランプが点滅します。なお、異常時の警報及び電池交換警報ブザー音（使用できない状態）は鳴ります。（異常時の警報についてP13及び電池の交換P14参照）

完全消音モードを解除する場合は、再度ブザースイッチをダブルクリックしてください。解除しない限り、警報ブザーの切り替え操作（1回押し）は受け付けません。

完全消音モードで電源をOFFにしても、解除操作または電池交換しない限り解除されません。

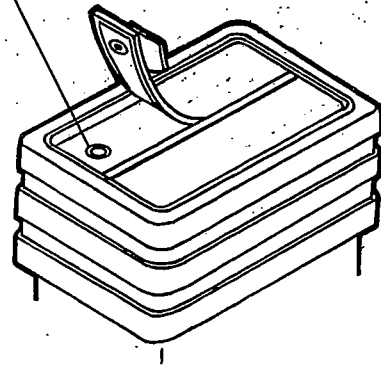
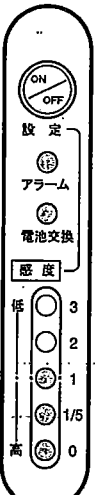
注意　完全消音モードでは、異常時の警報及び電池交換警報音以外は、全く音が鳴りませんので、音による操作の確認は一切できません。必要以外は使用しないこと、及び、使用された後は、確実に解除することをおすすめします。

6-4 イヤホンの接続

警報ブザー・操作音を、イヤホン（別売）で聞くことができます。

イヤホンは、本器底部のイヤホンジャックに接続します。

イヤホンを接続した場合、イヤホン以外から警報ブザー・操作音は聞こえません。

完全消音モードでもイヤホンを接続すると、警報ブザー・操作音を聞くことができます。

6-5 異常時の警報について

機器の異常を検出すると、アラームランプ（赤）、電池交換ランプ（黄）、ガス感度表示ランプ（緑）の一部が同時点灯し、ブザーが断続音で「ピー・ピー・ピー」と5回鳴ります。この時は、使用できない状態です。
下表に従って処置を行ってください。

	表示	原因	処置
ポンプ異常表示	アラームランプ（赤）、電池交換ランプ（黄）、ガス感度ランプ（緑）の上3つ、が同時に点灯。	水吸引時	ドレンフィルタ内の水を取り除き、新しいフィルタエレメントに交換してください。（フィルタエレメント交換 P17参照） 交換後、再度電源を投入し直しても同様の警報が表示される場合は、ポンプ故障の可能性があります。
		ポンプ故障時	修理（ポンプ交換等）をお買い上げ店または弊社までお申し付けください。
センサ異常表示	アラームランプ（赤）、電池交換ランプ（黄）、ガス感度ランプ（緑）の下3つ、が同時に点灯。	オートゼロ異常時	電源を投入した時に何らかのガスが、介在した可能性があります。清浄空気中で、もう1度電源を投入し直してください。 数回投入し直しても、同様の警報が表示される場合及び、連日、同様の警報が表示される場合はセンサ異常の可能性があります。
		センサ異常時	修理（センサ交換等）をお買い上げ店または弊社までお申し付けください。

7. 電池の交換

警告 電池の交換は、必ず非危険場所（清浄空気中）で行ってください。着火源になる恐れがあります。

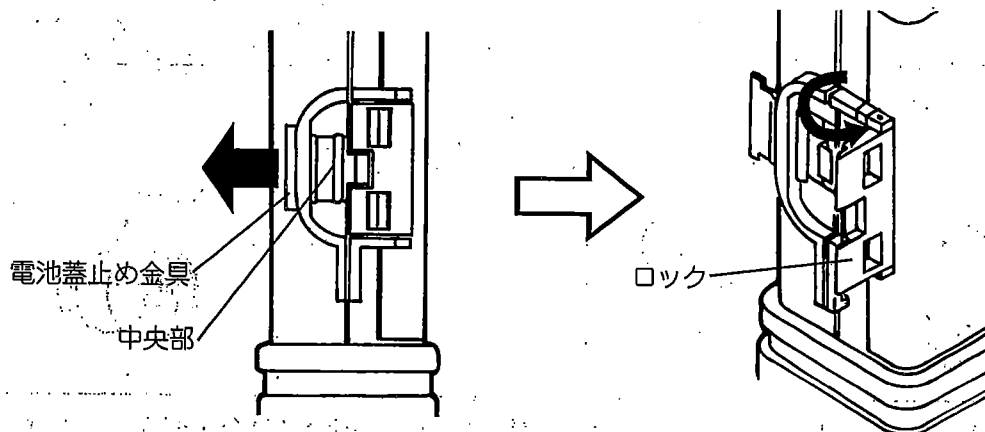
警告 必ず、単3形アルカリ乾電池（LR-6）または、単3形マンガン乾電池（R6PV/R6P）を使用してください。
その他の電池を使用すると、防爆性能を保証できません。

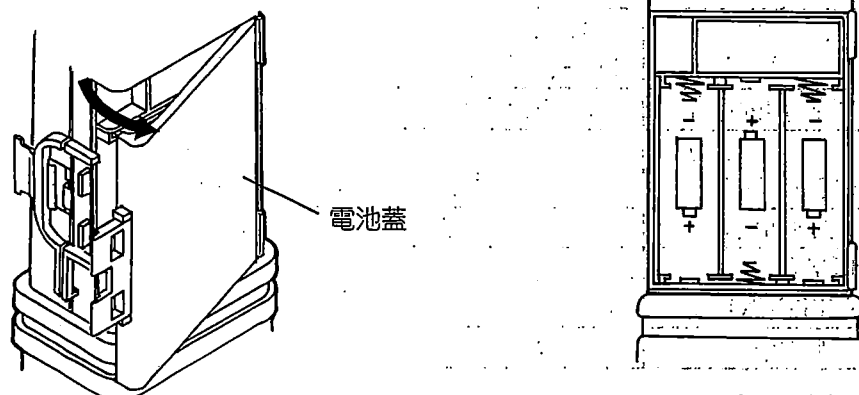
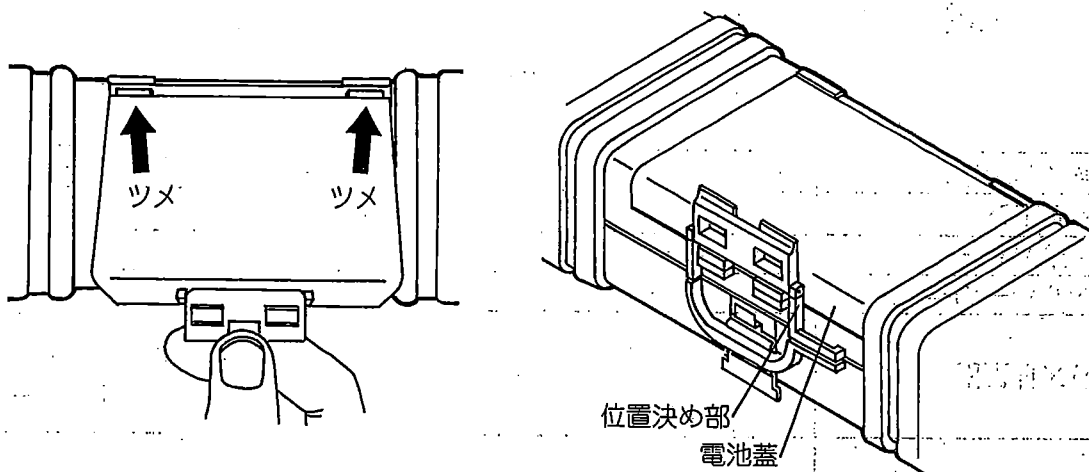
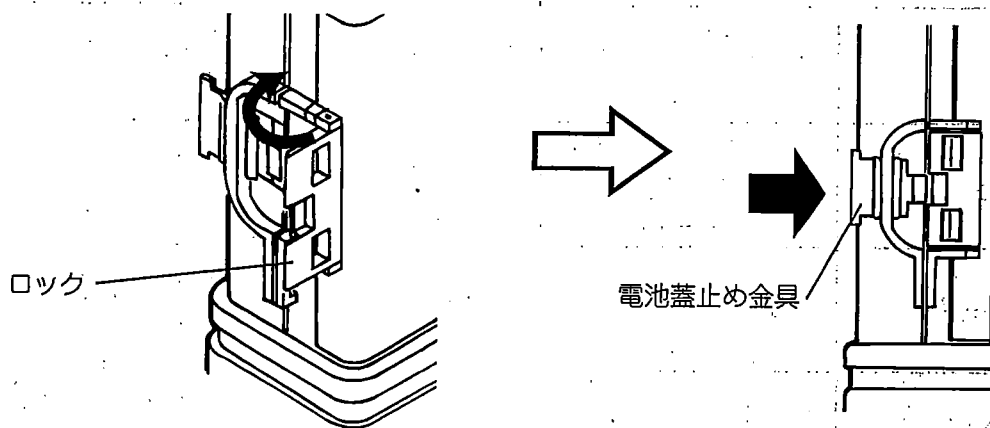
注意 本器の性能を満足するためには、単3形アルカリ乾電池を使用してください。
単3形マンガン乾電池も使用できますが、仕様（P19参照）の電池使用時間を満足することができません。

電池残量が少なくなると、電池交換ランプ（黄）とブザー音でお知らせします。
電池電圧が低下すると正常な動作をすることができませんので、必ず電池の交換を行ってください。
電池の交換は非危険場所（清浄空気中）で行い、単3形アルカリ乾電池（3本）を使用します。

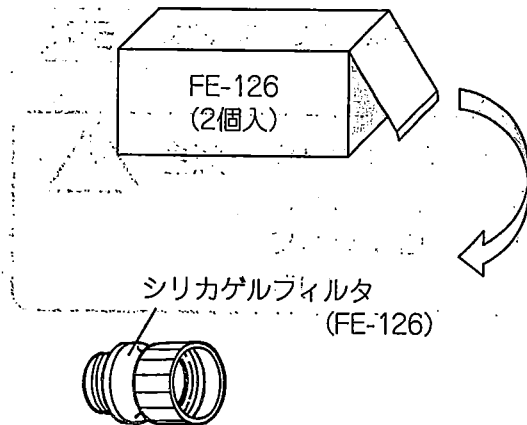
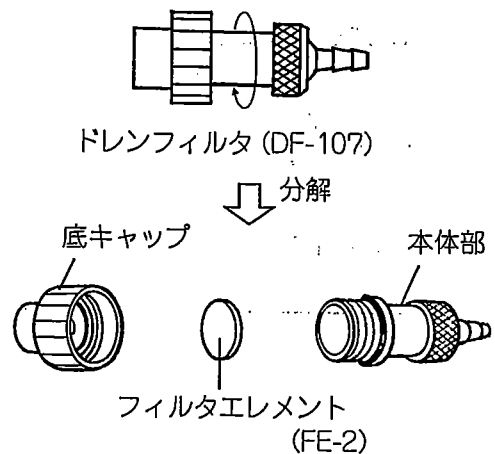
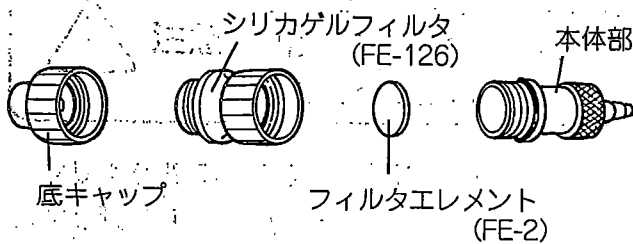
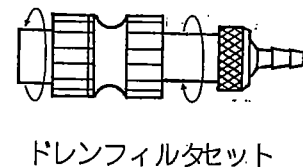
	電池交換ランプ(黄)	ブザー音
電池交換注意	点滅	なし
電池交換警報	点灯	電池が切れるまで「ピーピーピー」の断続音 （使用できない状態です。）

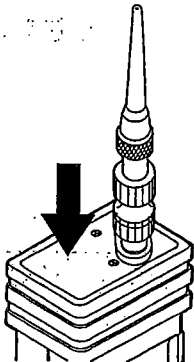
メモ 電池交換後、電源を投入すると、警報ブザー音はONに設定され、対象ガスは対象ガスランプ（緑）の上側（対象ガスが2種類の場合）に設定されます。また、ガス感度レベルは「1」レベルに設定されます。

①電池蓋止め金具を、中央部を押しながらスライドさせ、電池蓋のロックを外します。

7. 電池の交換

②電池蓋を開け、使用済みの電池を取り出し、新しい単3形アルカリ乾電池（3本）を極性の表示に従って入れます。

③電池蓋の右横にあるツメを機器本体に引っかけます。電池蓋をツメ側に押しながら、位置決め部の内側に押し込んで閉めます。

④電池蓋をロックし、電池蓋止め金具を止めます。

8. ドレンフィルタセットについて

ドレンフィルタセットは、水やほこりから機器を守り、シリコーン系ガス等から受けるガスセンサへの悪影響を軽減するために必要です。
ドレンフィルタセットは、ドレンフィルタ（DF-107）とシリカゲルフィルタ（FE-126）を組み合わせたものです。
弊社出荷時には、ドレンフィルタ（DF-107）とシリカゲルフィルタ（FE-126）は別々に包装されていますので、下記のように必ず組み合わせて、ドレンフィルタセットとしてご使用してください。

①シリカゲルフィルタ（FE-126）を2個入りの箱より1つ取り出します。

②ドレンフィルタ（DF-107）を分解します。

③分解したドレンフィルタ（DE-107）にシリカゲルフィルタ（FE-126）を下記の位置に組み付けてください。

④ねじを回し組み込めば、ドレンフィルタセットになります。

ドレンフィルタセット

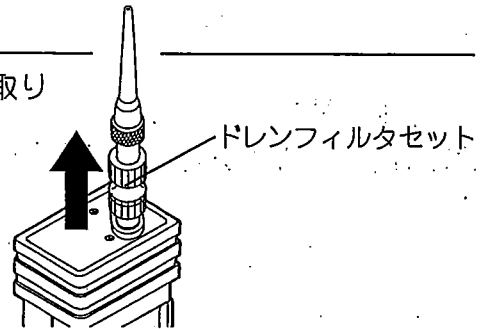
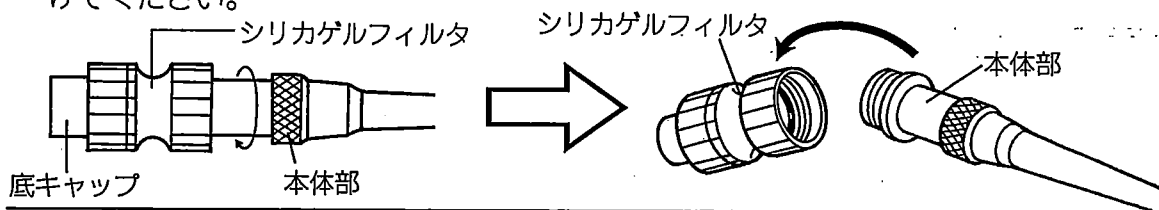
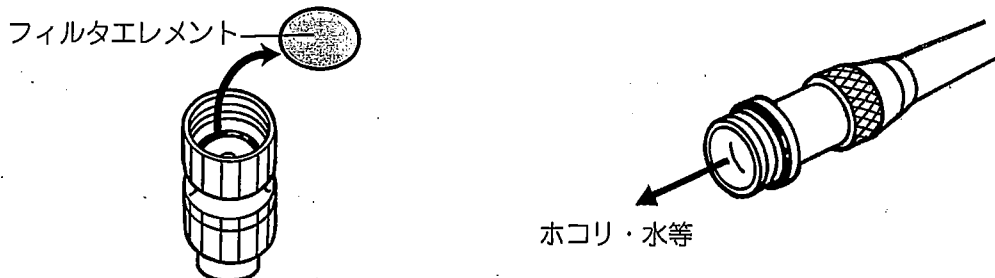
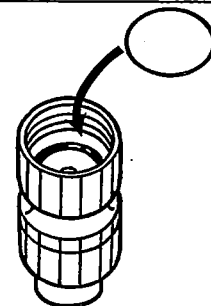
⑤ドレンフィルタセットを機器本体に取り付ければ使用できます。
フィルタ類は交換が必要です。交換手順に従って交換してください。（フィルタエレメントの交換P17参照、シリカゲルフィルタの交換P18参照）

注意
- ●組み合わせて使用しなければ、シリコーン系ガス等から受ける悪影響を軽減できません。
- ●正しく組み付けないと機器の性能を損なうおそれがありますので、正しく組み付けてください。
- ●シリカゲルフィルタ（FE-126）の取扱説明書も併せてお読みください。

8-1. フィルタエレメントの交換

フィルタエレメントが汚れて変色してくると、フィルタエレメントが目詰まりをおこしている可能性があります。また、フィルタエレメントが汚れていると、水の除去性能が著しく低下します。次の、要領でフィルタエレメントを交換してください。

また、水等を吸い込むと、自動的にポンプが停止します。この時も同様に交換してください。

①ドレンフィルタセットを引っ張り、機器本体から取り外します。

ドレンフィルタセット

②ドレンフィルタはネジ構造になっています。本体部とシリカゲルフィルタを回して開けてください。

③フィルタエレメントを取り出し、ドレンフィルタ内（本体部分）のホコリ、及び水等を十分取り除きます。

④新しいフィルタエレメントをシリカゲルフィルタと本体フィルタの間に入れ、ドレンフィルタを元の通り組み立てて、機器本体に取り付けます。

交換用のフィルタエレメントがなくなった場合は FE−2 の型式でご注文ください。

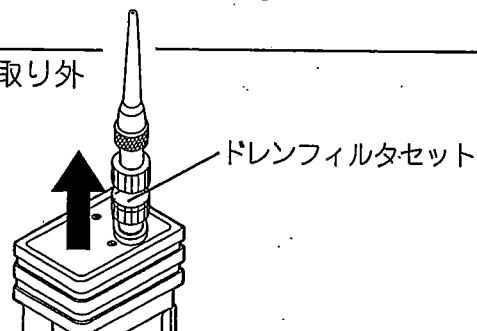
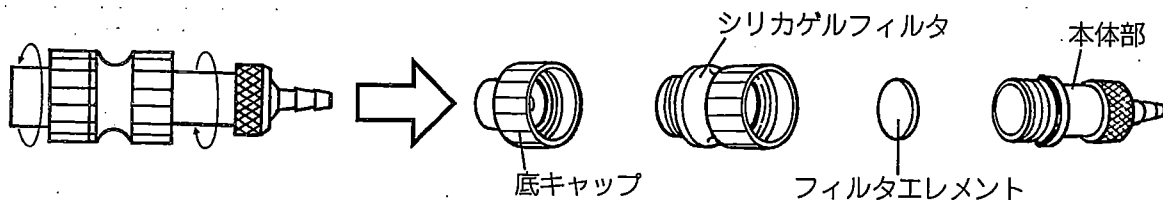
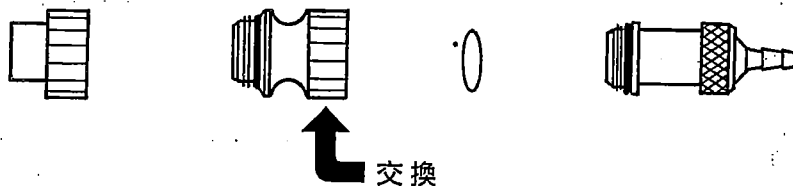
フィルタエレメントは必ずシリカゲルフィルタ（FE-126）と本体部の間に取り付けてください。
フィルタエレメント交換時は、ドレンフィルタ内のホコリ及び水等の異物が機器内に入らないようにご注意ください。機器の性能を損なう場合があります。
機器を動作させて、フィルタエレメントを交換しないでください。ホコリ等の異物が機器内に入る恐れがあります。

8-2. シリカゲルフィルタの交換

注意　シリコーン系のシール材を使用している周辺もしくはシリコーン系ガス雰囲気下での使用は、機器の性能を損なう恐れがありますので避けてください。

シリカゲルフィルタ（FE-126）は、シリコーン系ガス等から受けるガスセンサへの悪影響を軽減するためのものです。

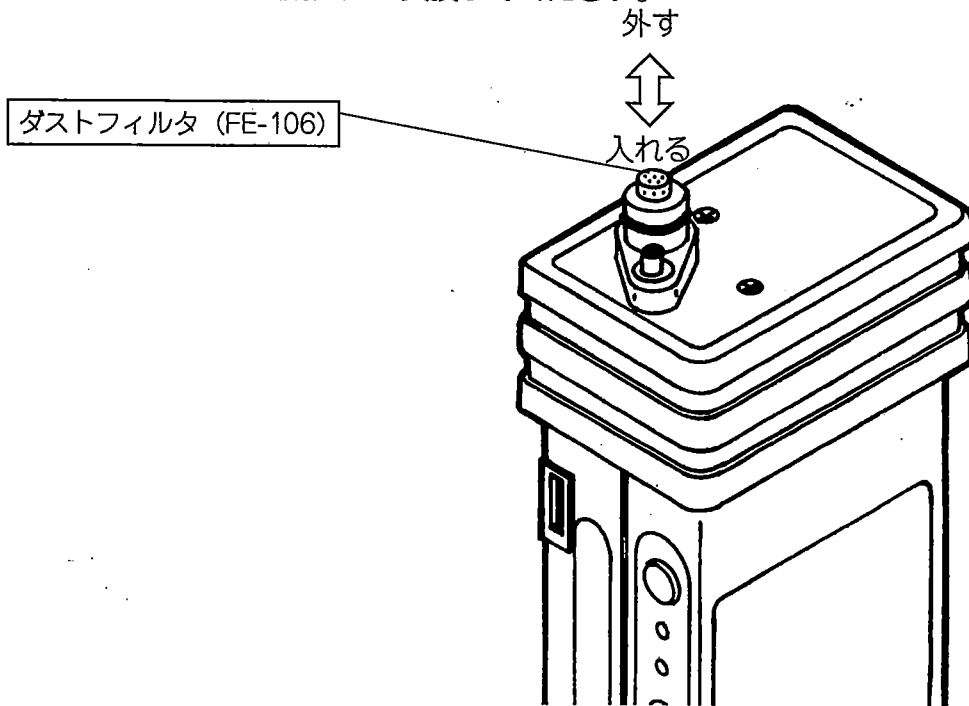
使用環境によって異なりますが、6ヶ月間の使用を交換の目安としてください。シリコーン系ガスの介在が多いと判断できる環境では、早めに交換をしてください。

①ドレンフィルタセットを引っ張り、機器本体から取り外します。

②ドレンフィルタセットはネジ構造になっています。本体部とシリカゲルフィルタ、底キャップを回して分解してください。

③シリカゲルフィルタを新しいものに交換し、ドレンフィルタを元の通りに取り付けてください。このとき、ドレンフィルタ内が水、ほこり等で汚れていれば、清掃してください。

メモ　交換用のシリカゲルフィルタがなくなった場合は、FE-126の型式でご注文ください。

注意　シリカゲルフィルタは水に濡れると使用できません。水に濡れた場合は、必ず交換してください。
フィルタエレメントは、必ずシリカゲルフィルタと本体部の間に装着してください。

9. ダストフィルタについて

ダストフィルタ（FE-106）は、細かいホコリ・砂等が内蔵ポンプへ侵入することを防ぐフィルタですので、取り外さないでください。

正規の使用状態（ドレンフィルタセットまたはドレンフィルタ（DF-107）との併用）では、ダストフィルタは汚れることはありませんが、ダストフィルタが汚れた場合は、新しいダストフィルタ（別売）に交換してください。

注意

- ダストフィルタ（FE-106）は、ドレンフィルタセット内のフィルタエレメント（FE-2）を装着した状態で使用してください。
- フィルタエレメント（FE-2）を使用しないと水等の侵入を防ぐことができません。
- フィルタエレメント（FE-2）交換時は、出来る限り機器内部にホコリ・砂等が入らないようにご注意ください。
- 使用状態では、ダストフィルタを取り外さないでください。

10. 日常点検

(1) 警報性能点検

電源投入及び準備完了後、「1/5」レベルにおいて、点検ガスを吸引させ、アラームランプ（赤）が点滅し、警報ブザーが鳴ることを確認してください。
ブザーランプが消灯(警報ブザーOFF)になっていないかをご確認いただいた上で、アラームランプ（赤）が点滅しなかったり、ブザーが鳴らない場合は、お買い上げ店または弊社までご連絡ください。

(2) ガス捕集器［標準アタッチメント］の点検

ガス捕集器［標準アタッチメント］に、作業上支障をきたすような摩耗・損傷がないことを確認してください。ある場合は、新しいものと交換を行ってください。

(3) フィルタエレメントの点検

フィルタエレメントが汚れて変色している場合は、交換を行ってください。（フィルタエレメントの交換 P17参照)

メモ ドレンフィルタが、著しく汚れている場合は、ドレンフィルタの清掃を行ってください。

(4) 電池交換ランプ（黄）の確認

電源投入時、電池交換ランプ（黄）が点滅・点灯していないことを確認してください。電池交換ランプ（黄）が点滅・点灯している場合は、電池交換を行ってください。(電池の交換 P14参照)

11. 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源スイッチを押しても電源が入らない。	電池の極性が逆。	電池を正しい極性に入れ替える。	電池の交換 P14
	電池の寿命。	電池を交換する。	
ブザーの断続音が鳴る。	電池の寿命。(電池交換ランプ（黄）点灯していませんか?.)	電池を交換する。	電池の交換 P14
吸引ポンプが動作しない。	水等を吸引し、自動停止した。	吸引口の目詰まりの原因を取り除き、新しいフィルタエレメントと交換する。	フィルタエレメントの交換 P17 シリカゲルフィルタの交換 P18

12．保証書と登録カード

保証書と登録カード　包装箱には、この取扱説明書のほかに保証書と登録カードが入っています。ご購入時には、販売店にてお買い上げ店名、お買い上げ年月日を記入することになっておりますので、ご確認をお願い申し上げます。また、登録カードは、お客様と弊社とのパイプ役として活用させていただきますので、ご面倒でも必ずご返送ください。

保守点検のお願い

(1)お買い上げいただきましたガスリークディテクタは、精密機器です。精度を維持し、安全を確保していただくためには、皆様方にお願いする日常の保守点検のほかに、1年に1回以上は、お買い上げ店又は弊社に点検調整定期点検をお申し付けください。
なお、日常の保守点検について不明な点は、弊社までお問い合わせください。
また、定期点検は定期点検契約により実施させていただきます。

(2)機器の故障修理につきましては、お買い上げ店又は直接弊社までご連絡ください。(送料は、お客様負担とさせていただきます。)

保証期間中　保証期間中に、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

13．仕様

項目	仕様
検知対象ガス	都市ガス・LPG・フロンガス（R-407C・R-410A）等
検知原理	熱線型半導体式（P24参照）
ガス採気方法	自動吸引式
検知可能漏洩量	3.3×10^{-6}Pa・m³／s フロンガス:[R-407C]12.4g／年間漏洩　[R-410A]11.2g／年間漏洩
検知可能濃度	10ppm フロンガス：30ppm
応答時間	3秒以内
電源（定格）	単3形アルカリ乾電池［LR-6］ （単3形マンガン乾電池［R6PV/R6P］）　3本（DC4.5V　0.25A）
電池使用時間*	約18時間（単3形アルカリ乾電池） 電池交換注意：電池交換ランプ(黄)点滅（使用可能） 電池交換警報：電池交換ランプ(黄)点灯及びブザー断続音(ポンプ自動停止)
防爆構造	センサ部：耐圧防爆構造 その他：本質安全防爆構造（ExibdⅡBT3）
防滴構造	防滴Ⅱ形：保護等級2（JIS C 0920）相当
使用温度範囲	−20℃〜50℃
寸　法	W60×H140×D40（突起部は除く）
重　量	約260g（電池を除く）

＊電池寿命は、環境条件、使用条件、保存期間、電池メーカーなどにより異なる場合があります。

14. 消耗部品、交換部品及びオプション（別売）

ガスリークディテクタの消耗部品及び交換部品は下記の通りです。お求めの際は必ず部品名、品番をお伝えください。

部品名	型式	品番	用途
フィルタエレメント（10枚入り）	FE−2	59160014	——
ドレンフィルタ	DF−107	59070014	——
シリカゲルフィルタ(2個入り) (5個入り)	FE-126	59160371 59160372	——
ダストフィルタ (5個入り)	FE-106	59160335	——
点検ガス	EG−10 (都市ガス用) EG−10L (LPG用)	59150200 59150100	——
標準アタッチメント	AT−2	20524420	配管、継手用
自在型アタッチメント	AT−2G	20524843	配管、継手用
ガス捕集器	AT−5	20524430	配管、継手用
ガス捕集器	AT−6	20524441	地中、壁埋込配管用
サンプリングチューブ	SH−4−1 1m	20524429	なまし銅管及びRP−1と組み合わせて使用
サンプリングチューブ	SH−4−05 50cm	20524531	なまし銅管と組み合わせて使用
なまし銅管	AT−11 60cm	20524431 59060000（チューブ付）	奥まったところの配管、器具用
伸縮管	RP−1	20524428	奥まったところ及び高いところの配管、器具用
フレキシブルアダプタ	AT−12	59050101	RP−1と組み合わせて使用
伸縮管	RP−4	20524433	地中配管、路面用
ガス捕集器	AT−7A	20524432	RP−4と組み合わせて使用
ショルダーストラップ	ST−2	59510002	——
保護カバー	C−3	59510000	——
イヤホン	——	10201001	——
取扱説明書	——	20574004	——

15. 防爆関連事項

警告　本器は、防爆構造になっています。
下記の防爆関連事項の記載内容を守って使用してください。
守っていただけない場合は、防爆構造が損なう可能性があります。

防爆関連事項

- 分解、改造、構造及び電気回路の変更はしないでください。
- 電池交換は、非危険場所で行ってください。
- 静電気の帯電による危険防止の総合的な対策として、携帯して使用する人の衣服は帯電防止作業服、履き物は導電性履き物（帯電防止作業靴）、床は導電性床（漏洩抵抗10MΩ以下）であることが望ましい。

16. 用語の説明

非危険場所：通常及び異常な状態において、爆発性ガスと空気が混合し爆発限界内にある状態の雰囲気の生成の可能性がないとみなされる場所。

熱線型半導体式センサ（検知原理）：金属酸化物半導体表面でのガス吸着による熱伝導度変化及び電気伝導度変化を白金線コイルの両端より見た抵抗値変化として測定するガスセンサです。

防滴構造：鉛直から15°範囲で落ちてくる水滴によっても機器の内部に異常をきたすような浸水がない構造。

本質安全防爆構造：正常時及び事故時に発生する電気火花又は高温部によって爆発性ガスに点火しえないことが、点火試験その他によって確認された構造。

耐圧防爆構造：全閉構造で、容器内部で爆発性ガスの爆発が起こった場合に、容器がその圧力に耐え、かつ外部の爆発性ガスに引火する恐れがないようにした構造。

（産業ガス検知警報器工業会、ガス検知警報器用語検知管式ガス測定器用語より引用）

● この取扱説明書を紛失された場合

万一この取扱説明書を紛失された場合は、弊社、下記最寄りの支社または営業所までご連絡ください。有償にて送付いたします。

代理店・販売店

新コスモス電機株式会社

本社 ■〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2－5－4 TEL(06)6308－2111(代)
東京支社 ■〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2(藤和浜松町ビル3F) TEL(03)5403－2704(代)
中部支社 ■〒461-0003 名古屋市東区筒井3-27-17(A.T.3ビル6F) TEL(052)933－1680(代)
札幌営業所 ■〒004-0013 札幌市厚別区もみじ台西7－11－8 TEL(011)898－1611(代)
仙台営業所 ■〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-4-7(ステージ21ビル2F) TEL(022)295－6061(代)
新潟営業所 ■〒950-0855 新潟市江南6－2－1(ヨシックスビル) TEL(025)287－3030(代)
静岡営業所 ■〒422-8062 静岡市稲川3－1－20(ハギワラビル2F) TEL(054)288－7051(代)
北陸営業所 ■〒920-0065 金沢市二ツ屋町8－1(アーバンユースフルビル2F) TEL(076)234－5611(代)
広島営業所 ■〒730-0851 広島市中区榎町9－4 TEL(082)294－3711(代)
九州営業所 ■〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1(NORITZビル5F) TEL(092)431－1881(代)
岡山出張所 ■TEL(086)244－4881(代) 徳山メンテナンス出張所 ■TEL(0834)22－6352(代)

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。 R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。